

内 容		担当課室	目 標 値	目標年次	実績				見込み	進捗状況と今後の取組内容
					2021年度末	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末	
基本方針 1（豊かな生態系を）まもる										
1	自然環境保全地域の指定	自然環境課	15か所(2020年度) → 18か所	2030	15か所	15か所	15か所	15か所	15か所	自然環境保全地域の候補地について検討していく。
2	生息地等保護区の指定	自然環境課	4か所(2020年度) → 6か所	2030	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	指定が必要な生息地等について検討していく。
3	緑地の確保や創出	公園緑地課	面積:46ha/年	2030	面積:24ha/年	面積:31ha/年	－	－	調整中	県営都市公園の整備や市町村の公園整備への支援のほか、樹林地の公有地化や民有地緑化への助成などにより、緑の創出を行った。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
4	農地の保全活動面積	農地計画課 農業振興課	農地の多面的機能支払い交付面積:31,800ha/年(2025年度まで)	2025	35, 877ha	35, 545ha	36, 095ha	35, 553ha	35, 940ha	目標年度である2025年度まで、順調に進捗した。食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標を見直す。
5	県民、企業、市民団体などとの協働による森林整備	林務課 森林保全課	森林保全活動面積:200ha/年(2025年度まで)	2025	212ha	236ha	238ha	249ha	200ha	目標年度である2025年度まで、順調に進捗した。食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標を見直す。
6	森林の整備・保全	森林保全課	森林整備(間伐)面積:4,000ha/年(2025年度まで)	2025	2,616ha	2,478ha	2,216ha	2,141ha	1,981ha (2025年9月末時点)	労務単価の上昇や防災減災等を観点とした間伐に取組んだ結果、限られた予算の中で整備可能な事業量が減少した。食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標を見直す。
7	漁場の保全活動面積	水産課	多面的機能発揮のための漁場の保全活動面積:5,200ha/年(2025年度まで)	2025	5, 213ha	5, 213ha	5, 213ha	5, 213ha	5, 213ha	目標年度である2025年度まで、順調に進捗した。
8	漁場の整備面積	水産課	魚礁の設置及び干潟・浅場の造成面積:196ha(2025年度まで)	2025	20ha	65ha	109ha	153ha	196ha	目標年度である2025年度まで、順調に進捗した。食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標を見直す。
9	河川水質の環境基準達成	水大気環境課	生活環境項目(水生生物の保全に係る水質環境基準)の達成率100%	2030	全亜鉛95%、 ノニルフェノール100%、 LAS100%	全亜鉛93%、 ノニルフェノール100%、 LAS100%	全亜鉛90%、 ノニルフェノール100%、 LAS100%	全亜鉛86%、 ノニルフェノール100%、 LAS100%	全亜鉛100%、 ノニルフェノール100%、 LAS100%	全亜鉛について、水質汚濁防止法に基づき、工場・事業場に排水基準を順守できるよう立入指導を行った。引き続き、環境基準の達成に向けた取組を進める。
10	湿地の保全活動	プロジェクトA 自然環境課	保全のための植生管理が行われている湿地:新たに10箇所	2030	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	5箇所	保全体制構築のため、2025年度末までに5箇所について湿地保全管理計画の作成を行い、1箇所で保全活動を開始した。保全管理計画を作成した湿地については、活動開始のためのフォローアップを行い、保全活動の開始を促す。
11	外来生物の定着防止	プロジェクトC 自然環境課	特定外来生物(7種)(ヒアリ、アカカミアリ、ハヤトゲフシアリ、アルゼンチンアリ、クビアカツヤカミキリ、カミツキガメ、ヒガタアシ)	2030	3種は一部地域で引き続き定着	3種は一部地域で引き続き定着	3種は一部地域で引き続き定着	3種は一部地域で引き続き定着	3種は一部地域で引き続き定着	アルゼンチンアリ、ハヤトゲフシアリ、クビアカツヤカミキリの3種についてはすでに一部地域で定着していることから、関係機関と連携し、拡大防止に努める。
12	野生生物の絶滅回避	プロジェクトB 自然環境課	県内野生絶滅種の新規発生ゼロ	2030	－	－	－	植物50種→48種 動物32種→43種	植物50種→48種 動物32種→43種	植物の絶滅種数の減少は、新規絶滅種が2種と、絶滅したと思われる種が4種再発見されたことによる。
13	条例で保護される指定希少野生動植物種の指定	プロジェクトB 自然環境課	18種(2020年度) → 25種	2030	18種	18種	18種	18種	18種	指定希少野生動植物種の候補種について検討していく。
14	県と生息域外保全協定を締結する施設	プロジェクトB 自然環境課	2施設(2020年度) → 4施設	2030	2施設	2施設	3施設	3施設	4施設	2023年度に豊橋総合動植物公園、2025年度に名古屋港水族館(名古屋港管理組合)と協定を締結し、目標を達成した。協定を締結した施設と連携し、生育域外保全に関する取組を推進する。
基本方針 2（生息生育空間を）つなげる										
15	生態系ネットワーク協議会への参加団体数	プロジェクトD 自然環境課	284団体(2020年度) → 350団体	2030	294団体	299団体	301団体	307団体	312団体	着実に増えているが、県主催のイベント等で積極的に周知を図っていく。
16	県営都市公園における生物多様性の保全再生活動	公園緑地課	600回/年	2030	870回/年	816回/年	－	713回/年	調整中	毎年度、順調に目標を達成している。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
17	自然環境の保全と再生のガイドラインのチェックシート活用	自然環境課	活用件数:100件/年	2030	38件	81件	66件	64件	30件 (2025年9月末時点)	自然環境の保全と再生のガイドラインの周知、チェックシートの活用促進を図ってきたが、目標の達成には至っていない。
18	開発事業における環境配慮工法等の反映率	プロジェクトG 自然環境課	80%/年	2030	31.3%	30.0%	26.1%	34.9%	33.3% (2025年9月末時点)	開発事業者に対し、自然環境の保全と再生のガイドライン及び環境配慮工法等の周知・促進を図ってきたが、目標の達成には至っていない。
19	保全活動団体と事業者のマッチング	プロジェクトG 自然環境課	成立件数:40件	2030	3件	8件	17件	23件	27件	2030年度の目標達成に向けて順調に進捗している。今後、保全活動団体及び企業へのマッチング制度の周知を強化していく。
20	多自然川づくりの推進	河川課	河川の整備率:18.7%(2025年度まで)	2025	17.9%	19.5%	20.7%	21.6%	22.6%	「5か年加速化対策」予算を積極的に活用したことから、見通しを大幅に上回る進捗が図られた。あいち社会資本整備方針2030の策定に伴い、成果指標の見直しについて調整中。

内 容		担当課室	目 標 値	目標 年次	実績				見込み	進捗状況と今後の取組内容
					2021年度末	2022年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末	
基本方針 3（生きものの恵みを）つかう										
21	県産木材生産量	林務課	13.86万 m ³ (2019年度) → 18万 m ³ /年(2025年度まで)	2025	20.4万 m ³	15.9万 m ³	17.1万 m ³	18.7万 m ³	未定	目標年度である2025年度まで、順調に進捗した。 食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標を見直す。
22	ニホンジカの生息頭数の 適正管理	プロジェクトF 自然環境課	早期に、適正水準(約8,500頭)まで削減し、維持	2030	22,663頭	20,120頭	20,041頭	集計中	調査中	2021年度以降、ニホンジカの捕獲頭数は6,000～7,500頭程度で 推移しているが、生息頭数の減少が少ないため、更なる捕獲強 化を行う。
23	ニホンジカによる農業被害等の抑制	農業振興課	農業被害額の減少	2030	28,605千円/年	55,391千円/年	40,278千円/年	51,102千円/年	調査中	ニホンジカについては、工芸作物や野菜類等の被害により、被 害額が増加している。引き続き、侵入防止柵の新規整備や捕獲 等の対策により被害額の減少に努める。
24	茶臼山及び伊良湖休暇村の 利用促進	プロジェクトH 自然環境課	利用者の確保:60万人/年	2030	27万人/年	45万人/年	40万人/年	38万人/年	50万人/年	コロナ禍の影響により利用者数が減少し、現在も回復しきってい ない。今後、利用者の利便性を向上させるための施設整備や、 情報発信によるPRを行い、利用促進を図る。
25	弥富野鳥園の利用促進	自然環境課	来園者数:62,000人/年	2030	61,375人/年	55,279人/年	49,653人/年	50,617人/年	50,000人/年	従来からの探鳥会やイベント等を充実させることに加え、定期的 な野鳥に関する展示内容の変更等により利用者の増加を図る。
26	県営都市公園の利用者推進	公園緑地課	利用者数:720万人/年	2030	660万人/年	714万人/年	811万人/年	847万人/年	調整中	多様な主体によるイベント開催や、民間のノウハウを活用した施 設の整備の推進等により、公園の魅力を高め、公園の利用促進 を図る事で、着実に目標を達成した。愛知県広域緑地計画の見 直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
27	農林漁業体験の推進	農政課	多様な主体と取り組む農林漁業体験への 参加者数 :185,000人/年(2025年度まで)	2025	13.4万人	15.0万人	16.8万人	16.5万人	16.5万人	大雨や猛暑の影響により、参加者は目標を下回る結果となっ た。県民の本県農林水産業への関わりを深めるため、開催場所 や開催時期を調整し、効果的な周知を図るなど、より多くの県民 がイベントや体験活動に参加できるようにする必要がある。 食と緑の基本計画2030の策定に伴い、成果指標の見直しにつ いて調整中。
28	いいともあいち運動の推進	食育消費流通課	知っている人の割合:22.7%(2020年度) → 28%(2025年度まで)	2025	24.2%	－	22.2%	－	26.9%	SDGsや環境負荷低減に貢献する運動として、県内に向けて「地 産地消」の実践を促すための取組を進めた。 食と緑の基本計画2030の策定に伴い成果指標の見直しについ て調整中。

基本方針 4（人と自然との共生を）ひろめる											
29	「生物多様性」の普及	プロジェクトE	自然環境課	言葉の意味の認識率 51.2%(2020年) → 75%	2030	－	－	－	－	55.7%	2025年度の調査でやや進捗が見られたが、目標の達成に向けてはあまり伸びていない。認識率の向上に向け、より一層、環境イベント等で積極的に周知を図り、生物多様性の主流化を目指す。
30	市町村の生物多様性施策の推進	プロジェクトD	自然環境課	生物多様性戦略策定数 10市町村(2019年度) → 40市町村	2030	21市町村	24市町村	27市町村	31市町村	32市町村	地域戦略の策定支援事業等を実施し、目標達成に向け着実に進捗した。今後は、県が主催する市町村環境担当者会議等において、引き続き策定に向けた働きかけを行う。
31	市町村の生物多様性施策の推進		公園緑地課	生物多様性に関する事項が記載されている緑の基本計画の数:49市町	2030	33市町	37市町	37市町	37市町	調整中	公園緑地担当者会議等において、緑の基本計画への生物多様性に関する記述の働きかけを行う。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
32	生物多様性サポーターの拡大	プロジェクトJ	自然環境課	登録者数:5,000人	2030	募集開始	178人 19団体	449人 29団体	781人 32団体	867人 35団体 (2025年11月末時点)	募集開始以降、着実に登録者数が伸びているものの、目標達成には更なる努力が必要である。環境イベント等で一層積極的に周知を図るとともに、登録のメリットを拡充するなど興味・関心を引く内容の充実に努める。
33	県民の緑に対する満足率		公園緑地課	住まいの周辺の緑を多いと感じる人の割合:75.0%	2030	－	－	70.6%	－	調整中	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業による民有地への支援や、県営都市公園の整備及び市町村への公園整備の支援等を行っている。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
34	県民参加緑づくり事業の推進		公園緑地課	参加人数:284,000人(2019～2030年度累計)	2030	51,336人 (2019～2021年度累計)	79,234人 (2019～2022年度累計)	98,222人 (2019～2023年度累計)	116,218人 (2019～2024年度累計)	調整中	公園緑地担当者会議等において、県民参加緑づくり事業の要綱策定や実施について、市町村へ働きかけを行っている。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
35	都市緑化普及啓発イベントの数		公園緑地課	240回/年	2030	144回/年	107回/年	－	調査中	調整中	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業による市町等への支援を行っている。愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
36	公園の管理・運営への参加		公園緑地課	参画している協議会等の数:12団体	2030	－	－	－	9団体	調整中	愛知県広域緑地計画の見直しに伴い、成果指標の見直しについて調整中。
37	国際情報の県内への報告	プロジェクトI	自然環境課	毎年実施	2030	実施済み	実施済み	実施済み	実施済み	実施予定	環境白書において2024年度に開催されたCOP16の参加と議決内容についての報告を行った。また愛知県と江蘇省(中国)及びサンパウロ州(ブラジル)のユースによる交流プログラムの成果についてユース会議等で報告した。今後も引き続き交流成果を発信する。